

映画タイトル

天使のいる図書館 2017 年

概要

美しい自然に囲まれた奈良県の葛城エリアを舞台に、図書館で働く女性が地元住民たちとの交流を通して成長していく物語。あさが来たの小芝風花主演で描いたハーレムラブドラマ。葛城地域の歴史や文化を再発見していく。さらには、おおりユウの「恋火」の脚本を担当。

感想

- ・少々冗長な印象を受けた。さまざまな奈良県の特産物や行事などを紹介をするために長くなってしまったのではないかな。
- ・レファレンスに回答することを中心に物語が進むという意味で稀有な映画といえる。
- ・主人公が高齢者の女性からのレファレンスを受けて、写真の場所を探す場面では最初の写真以降は資料に基づく対応ではなく、記憶や実際の場所を巡って探す、というのがレファレンス映画としてみたときにはやや残念なところである。
- ・水に濡れてしまった資料をアイロンを使って直す場面が出てくる

ご意見・情報など